



# ア あなたも私も久木野のみんなで イ いつでもどこでも エ エコアクション! ス すてきな心の オー おもいやり

## はじめに

【久木野小ってどんなところ?】

水俣市の東部に位置し、校区には地域住民の努力によって育てられた分収林があり、「愛林の里」と呼ばれる久木野。東は球磨郡球磨村、南は鹿児島県伊佐市、北は葦北郡芦北町に接する自然豊かなところ。全校児童14名、極小規模校(完全複式3学級)だが、全校仲よく元気に学校生活を送っている。



## 児童の実態と今年度の方向性

子どもたちは自然とふれあう機会(体験活動)が充実しており、「自然を大切にしたい」という思いは強い。また、節水・節電・ごみの分別は意識が高まり、達成率も高まってきている。そのような中で見えてきた課題は、「環境美化(環境整備)への意識をさらに向上させること」「家庭と連携し、家庭でのISO活動を推進すること」であった。

そこで今年度は、昨年度までの取組を踏まえつつ、「児童一人ひとりが環境を常に意識した日々の生活」を送り、日々の生活の中で少しずつ成果が出せる環境活動を目指す。

## 組織作り

みんなで取り組む学校版環境ISO活動は、環境美化委員会が中心となって活動している。



## 1. 宣言

### 久木野小学校版環境ISO宣言 行動目標

- 【節水】①水を大切にします
- 【節電】②電気を節約します
- 【ごみ減量】③ごみの分別・減量をします
- 【環境美化】④花いっぱいになります
- 【意識向上】⑤自分で決めた環境行動目標を守ります
- 【家庭での実践】⑥上の①②③⑤の項目を家庭でも取り組みます

#### 【手立て】

##### 【児童】

- 水道は鉛筆の太さで使う。
- コップ1杯の水で歯磨きする。
- バケツの水で雑巾を洗う。
- 誰もいない教室の電気は消す。
- 使わない電気製品のコンセントはぬく。
- 燃やすごみ・廃プラ・紙ごみの3つは特に注意して分ける。
- 給食は残さない。
- 花壇や学級園の草取り、手入れ。

##### 【職員】

- コップ1杯の水で歯磨き。
- バケツの水で雑巾を洗うよう指導し、一緒に掃除する。
- 明るさをみて照明量を調整。
- 身の回りの電気製品のスイッチをこまめに切る。
- ごみ分別の徹底。職員への配付資料は裏紙使用。
- 給食は残さない。
- 運動場の草取りや石拾いをする。

【数値目標】 水及び電気の使用量昨年度比5%減

今年度の行動目標として上記の6つの項目を設定した。本年度は昨年度までの「節水」、「節電」、「ゴミの減量」、「自分の目標」、「家庭でのISO」という目標に、課題として見えてきた「環境美化」を加えた。また、本年度の学校キャッチフレーズ「自分から行動を起こそう」のもと、児童と教師22人全員がそれぞれの環境目標を設定し、取り組んでいくことを共通理解した。



## 2. 行動

### (1) 具体的な取組

#### 【節水の取組】

コップ1杯での歯磨き、バケツを使っての雑巾洗いは定着している。水の出しすぎを防ぐために、出す量の目安を「鉛筆の太さ」とし、実践している。



#### 【節電の取組】

給食時間と掃除時間は天候に応じて照明量を調節している。また、スイッチ式の延長コードを使い、使わない機器は電源をこまめに切るようにした。



#### 【ごみ減量の取組】

「名刺サイズより大きい紙は紙ゴミとしてリサイクル」実践のために、紙袋を用意し入れるようにした。たまったらそのまま結んで資源ごみとして出せる。職員間の配布物は裏紙利用がほぼ定着してきた。



#### 【環境美化の取組】

「1人1プランター」として、花の栽培をしている。また委員会の活動として、学校の周りがある花の写真を撮り掲示した。名前を覚えることで、さらに美化に意識が向くようにした。



#### 【意識向上の取組】

11月、ISOチェック項目で「自分で決めた環境行動目標を守る」という項目の達成率が一番低かったため、児童集会ですぐに呼びかけた。翌月は達成率が上昇した。



#### 【家庭での実践の取組】

委員会発案で、ISO標語の募集をした。それをしおりにし、各家庭で使ってもらった。今後エコクッキングを行い、レシピを各家庭に配布する予定である。



(2) 心を育てる活動

【エコタイム】

毎月『エコタイム』という時間を設け、特別教室や外庭の掃除を行ったり、花を植えたりし、学校の美化に努めている。

プランターや鉢、花壇に植える苗は職員が率先して種から育ており、育った苗は数えきれないほどある。数多くある苗は、地域の皆さんに配布もし、大変喜ばれている。



【出前講座「環境学習」】

全校一斉の環境学習は、年に一度熊本県環境センターの環境指導員において頂いている。今年度は「ごみ問題」を学習した後、廃品を利用した万華鏡作りの体験もさせて頂いた。



【地域清掃】

年間を通じて5回程度、学校のそばにある「愛林館」周辺の清掃活動を行っている。休みの日などよく遊ぶ場所であり、身近なところから環境を考える機会になる。



【資源回収への参加】

夏休みと冬休みに行われる資源（ビンやアルミ缶）回収にも積極的に参加し、保護者や地域の方とも協力して活動している。



【校内環境整備】

職員の自主的な行動により、学校の様々な場所に季節の花が生けられている。また、気づいたら即草刈りをする職員も複数おり、運動場・中庭・駐車場等は常時整備されている。



3. 記録

【チェックカードとその達成率】

環境ISO

名前 林田

わたしが決めた 環境行動目標

1学期 草刈りをがんばる。

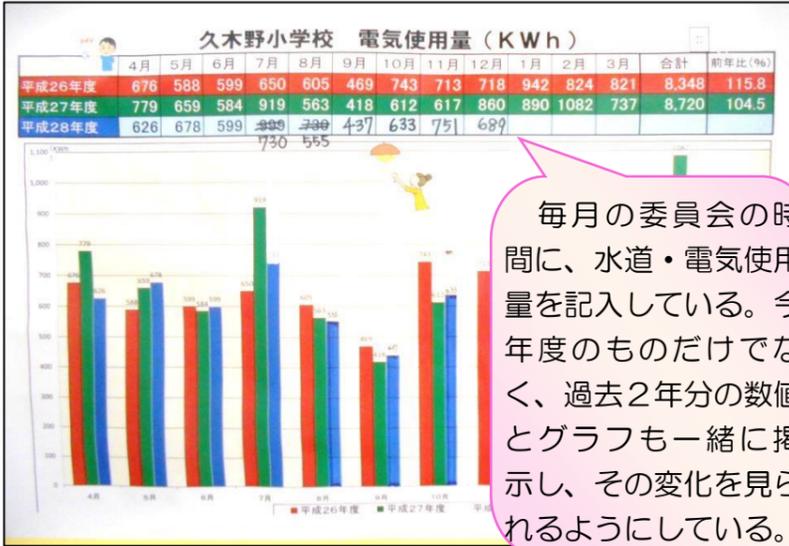
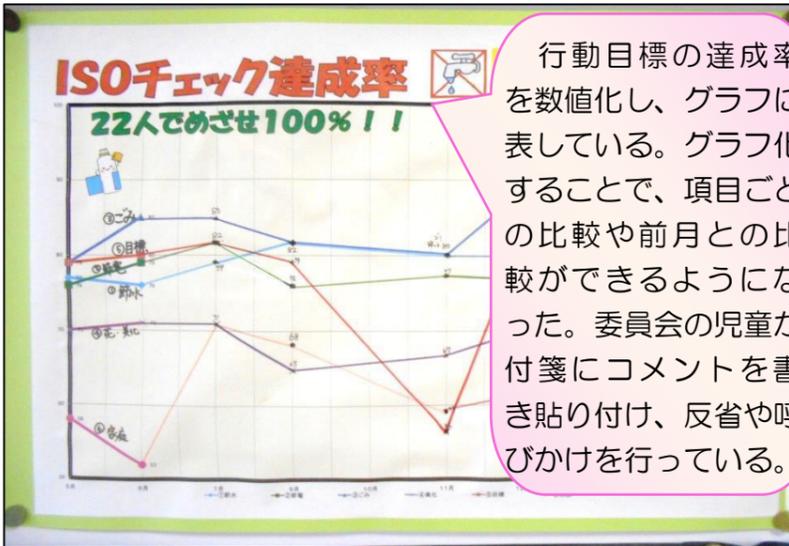
2学期 ごみの分別・減量に努める。

3学期

毎日全部できた ● だいたい全部できた ○ あまりできなかった ● 全

チェック項目(ごもく)	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月
①水を大切にします。(コップ1杯の水で歯磨きします。バケツの水で雑巾を乾かすより節水し、一掃に掃除します。)	●	●	●	●	●	●	●	●
②電気を節約します。(明るさをみて照明量を調整します。身の周りの電気製品のスイッチをこまめに切ります。)	●	●	●	●	●	●	●	●
③ごみの分別・減量をします。(分別を徹底します。職員への配付資料は最新の使用を心がけます。分別は厳しめです。)	●	●	●	●	●	●	●	●
④花いっぱいします。(緑化推進活動(花や植物の栽培、校内外の環境美化)を実施します)	●	●	●	●	●	●	●	●
⑤自分で決めた環境行動目標を守ります。	●	●	●	●	●	●	●	●
⑥上の①②③④に、家庭でも取り組みます	●	●	●	●	●	●	●	●

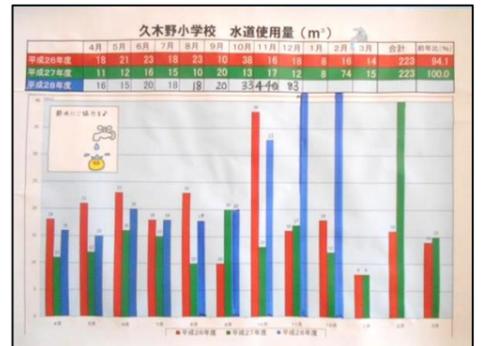
6つの行動目標について、月ごとに振り返っている。また、全児童・全職員のチェックカードをISOコーナーに掲示し、一人ひとりの取り組みの様子や変化を確認できるようにした。



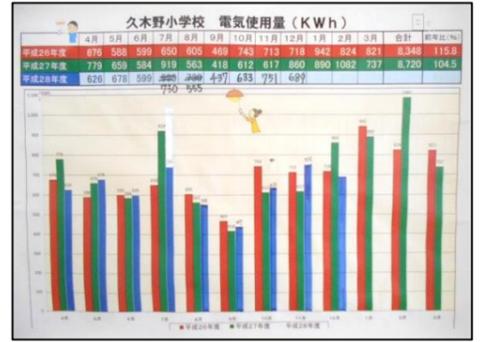
4. 見直し (成果と課題)

【使用量のグラフから】

水の使用料は、残念ながら昨年度よりも上回ってしまった。栽培活動が充実し、その水やりを使用したことも影響していると思われるが、一層委員会でも呼びかけをしていく。11、12月の使用量の多さは、どこか設備に異常があると思われる、現在調査中である。



電気使用量は昨年度を下回り、前年比5%減も達成できそうである。さらなる呼びかけを行ってきたい。



【行動目標の達成率から (%)】

	①節水	②節電	③ごみ減量	④環境美化	⑤意識向上	⑥家庭実践
5月	77	76	79	70	79	58
12月	80	76	89	70	84	62

5月と12月を比較すると、ほとんどの項目で上昇し、意識して取り組む人が増えていることがわかる。家庭での実践が一番低い月で53%まで落ち込み、その後上昇はしているが、まだまだ他の項目と比べると低い。

【成果と課題・今後の方策】

- 行動目標の振り返りを毎月行い、それを見える化することで、意識して行動する児童が増えている。
- 委員会の児童は、日常的な活動だけではなく、各家庭によびかけたしおり作りやエコクッキングもやってみたい、と自分たちでアイデアを出し、意欲的に活動している。
- 環境整備については、児童・職員それぞれ『自分から行動を起こそう』のキャッチフレーズのもと、率先して楽しそうに活動している。環境美化の好循環となっているのでさらに進めていきたい。
- ごみの減量が目に見えるよう、計量にも取り組みたい。
- 家庭への呼びかけがまだまだ不足している。「家庭版環境ISOの取組」などを呼びかけ、無理のない活動が家庭でもできるように年度当初から計画的に進めていきたい。